



Yumi Nara Soprano Récital
奈良ゆみ・ソプラノリサイタル

INSPIRATION
～エリック・サティ & ジョン・ケージ～

～ Erik Satie (1866-1925) & John Cage (1912-1992) ～

ピアノ：谷口敦子
Piano Atsuko Taniguchi

芸術家は確かに尊敬に値する。ただし、聴衆はもっとそうである。何でも音楽として聴けば音楽になる。（エリック・サティ）
我々が行うあらゆることは音楽である。（ジョン・ケージ）

『ブランコ』 エリック・サティ
こうしてゆれているのは私の心
でも 目まいなんかしない
何と可愛らしい足しているのだろう
私の胸の中にもどりたい というのかな
(藤富保男 訳『エリック・サティ詩集』より)

ジョン・ケージ
N 時の空間
O に
T 紙を変える
A 紙のきず
T その上に
I 音楽が書かれる
O 書かれる
N 以前に音楽はそこにある
(岩佐鉄男 訳 / 小沼純一編
『ジョン・ケージ著作選』より)



photo : Brigitte Enguérand

2016年 12月 10日 (土) 入場料 《全自由席》／【一般】5,000円 【学生】3,000円

【2回公演】 15:00 開演(14:30開場) 19:00 開演(18:30開場)

会場 モーツアルト・サロン

地下鉄谷町線・堺筋線『南森町駅』、JR東西線『大阪天満宮駅』
地下鉄の①番出口徒歩5分 (2つの駅は地下で連絡しています)

席に限りがございます。お早めにお申込み下さい。

お申込み・お問合せ先 / モーツアルト・サロン TEL:06-6364-5836 E-Mail:miyata@kyodo-sekkei.com

ジャン・コクトー

サティの小さな作品は鍵穴のように小さい。しかし、眼を近づけるとすべてが変わる。

坂口 安吾

音楽は常に新陳代謝し、今日の音楽は常に青年の音楽でしかなかった。しかし永遠に青年である音楽が生まれた。
エリック・サティの音楽がそれである。

エリック・サティ

今は私は食欲がない。歯の端で食べている。近いうちに、もしかしたら鼻の端で食べるようになるかもしれない。

ジョン・ケージ

サティは彼自身の核心において、自然に彼自身と音楽を愛すること、その孤独と勇気を知っていたのです。

プログラム Programme :

ジョン・ケージ John Cage

「四方の壁」より (1944) *Extraits de Four Walls*

VI ~piano solo~
VI

スウィート・ラヴ ~solo for voice~
Sweet love (Merce Cunningham)

エリック・サティ Erik Satie

潜水人形 全5曲 (1924)
Ludions (Léon-Paul Fargue)

スポーツと気晴らし より 5曲 (1914)
Extraits de Sports et Divertissements

天使たち (1886)
Les Anges (J.P.Contamine de Latour)

ジョン・ケージ John Cage

子守唄 (1991) ~piano solo~
Lullaby

セルクス2 より (1984)
Extraits de Selkus 2 (Marcel Duchamp)

エリック・サティ Erik Satie

ワルツ=バレー (1985) ~piano solo~
Valse Ballet

あなたがほしい (1900)
Je te veux (Henry Pacy)

いいともショショット (1905)
Allons-y Chochotte (D.Durante)

* * * * *

ジョン・ケージ John Cage

花 (1950)
A Flower

エリック・サティ Erik Satie

エレジー (1886)
Elegie (J.P.Contamine de Latour)

愛をこめて (1902)
Tendrement (Vincent Hyspa)

言葉のない3つの歌曲 (1905)
Trois mélodies sans paroles

エンパイア劇場の歌姫 『ディヴィア』 (1904)
La Diva de l' Empire (D.Bonnaud / N.Biles)

ラグ・タイム 『パラード』 (1917) ~piano solo~
Rag-Time Parade

ジョン・ケージ John Cage

エキスペリエンスNo2 (1948) ~solo for voice~
Experiences No2 (E.E.Cummings)

ソング・ブックス (『声のためのソロ』より) (1970) ~solo for voice~
Extraits de Song Books

18の春を迎えた素晴らしい寡婦 (1942)
The wonderful widow of eighteen springs (J.Joyce)

奈良ゆみ／ソプラノ

Yumi Nara, soprano

相愛大学声楽科卒業後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に入学、メシアンに注目される。以後パリを拠点としてヨーロッパで各地で演奏活動を展開。色彩感にあふれた声と創造的な表現力は、とりわけ現代音楽の分野で注目を集め、デュサンパン、ダオ、エロワ、松平頼則、平義久をはじめ多くの現代作曲家から曲を捧げられている。

パリ・オペラ座で演奏されたメシアン『ハラウイ』をはじめとして、シェーンベルク『月に憑かれたピエロ』、オハナ『三つの御花の物語』、『サティとフランス六人組』やラヴェル『シェヘラザード』などが高い評価を受ける。さらに、西鶴『好色一代女』のテキストを使ったジョン・クロード・エロワの『仏明会』や、松平頼則のモノ・オペラ『源氏物語』の歌い手として、日本の音楽・文化が西洋の現代音楽と結びつく可能性を明示した。

東京でドビュッシー『ペラエスとメリザンド』(ジャン・フルネ指揮、東京都交響楽団)を歌う他、日本各地でクリエイティヴなテーマでリサイタルを行っている。パリで開催されたメシアン生誕100年記念オープニング・コンサートでは『ミのための詩』を歌った。(Pf: ロジェ・ムラロ)

CD録音も多く、『ドビュッシー歌曲集』(Pf: クロード・ラヴォワ)は、『ル・モンド』仏音楽誌で最高推薦盤に挙げられている。

ホームページ <http://www.yuminara.com>

谷口敦子／ピアノ

Atsuko Taniguchi, piano

神戸女学院大学音楽学部ピアノ専攻卒業。第1回ウィーン国際音楽コンクールにてペルヌ賞受賞。翌年、ポーランドのフィルハーモニック・オルフェウスにソリストとして招かれる。平成9年度大阪府芸術を奨励新人に選ばれる。ザ・フェニックスホール、イシハラホール、モーツアルトサロンなどで、ソロリサイタルを行うなど、バッハからフランス・現代、松平頼則、武満、ケージなど幅広いレパートリーを持つ。また、奈良ゆみ、O.ミリヤコヴィッチ、金昌國の各氏と共に演奏など、室内樂・歌曲・合唱等様々な分野で、コラボレイティヴ・ピアニストとして活躍中。「内なる響き～モンボウのピアノ曲とその周辺」、奈良ゆみフランス歌曲全貌シリーズ、没後10年メシアン歌曲全曲演奏会、シューベルト3大歌曲集演奏会、ドイツ歌曲作曲家別シリーズ、ブルームスヴァイアイオリンソナタシリーズ、「Reiko Every Mozart」「バッハによるヴァイオリニストへの捧げ物」など、様々なシリーズに出演し、多彩な演奏活動を展開している。これまでに、故岡坂恭子、故小柳芳子、益子明美、D.シュルマン、J.コットリープ、M.ブーケの各氏に師事。「エコーキサラギ」「エコ・ヴィヨリーネ」「コール・ピンネ」「立命館大学混声合唱団メディックス」のピアニスト。京都フランス歌曲協会、日本演奏連盟会員。

奈良ゆみ CD 新発売 «2017年1月7日»

～ガブリエル・フォーレ 晩年の歌曲集～
イヴの歌、閉ざされた庭、幻影、幻想の水平線
Piano : Monique Bouvet

当日会場限定 先行販売予定！

ALCD-7207 定価 ¥2800+税

ALM
RECORDS



地下鉄谷町線・堺筋線『南森町駅』、JR東西線『大阪天満宮駅』

地下鉄の①番出口徒歩5分 (2つの駅は地下で連絡しています)

〒530-0047 大阪市北区西天満5-10-14 TEL:06-6364-5836

都合により、曲目が変更する場合がございます。予めご了承ください。